

## 第6回国外調査全体レポート

常滑市 堂本大輔

### (1) 概要

8日間の研修の最初に、自転車や公共交通を利用してまちなかを巡る市内探索に出かけた。各スポットを訪れ、市民にインタビューすることで、ポートランド市の生の雰囲気と、市民の気質を肌で感じた。

翌日からは、ポートランド州立大学を拠点として、意見交換、プレゼンテーション、市民リーダー・行政担当者等のゲストスピーカーを迎えての講義、行政課題の革新的解決に向けた討議等を行った。

加えて、夜間にはイブニングサイトビジットとして市民団体の活動拠点を訪れ、まちづくりの成功の秘訣等を学んだ。

### (2) ビアストーミング

特筆すべきは、夜間に行われた『ビアストーミング』である。市民リーダー、ポートランド州立大学関係者等を囲んで、研修の目的や、ポートランドの市民と行政の協働のあゆみと成功の裏にある関係者の動きなどの実に生々しい話を聞くまたとない機会となった。

関係者の確信あふれる言葉とそれを支える情熱は、研修生にも伝播し、参加者全員を1つにして、まちづくりに対する思いをより一層深めることとなった。

### (3) 所管

研修生の学びと成長を真剣に考慮した上で研修がプランニングされていたと感じる。それは、ポートランド州立大学関係者の熱い思いによるものであり、研修生にとっては生涯忘れることのできない経験となっている。これを地元へ持ち帰ってどう生かすかが最重要の課題であり、そのことこそ、ポートランド州立大学関係者への何よりの報恩につながると確信している。

研修生に対し心を砕き、真に期待を寄せてくださっている西芝雅美先生とスタッフの方々には、感謝の思いが尽きない。

—以上—